

新理事長紹介

役員改選により、下記の方々が新理事長に選出されましたので、ご紹介します。

協同組合秋田市卸売市場協会（秋田市）
理事長 高橋 良治さん

組合員名：丸果秋田県青果株式会社
役 職：代表取締役
改 選 日：平成30年5月29日

協同組合鷹巣銀座通商店会（北秋田市）
理事長 佐々木 大さん

組合員名：株式会社佐々木電機
役 職：代表取締役
改 選 日：平成30年5月30日

協同組合大湯温泉観光協会（鹿角市）
理事長 中村 三千夫さん

組合員名：中村土木
役 職：代表
改 選 日：平成30年6月27日

－会員組合の皆様へ－

本コーナーでは、会員組合の理事長交代について紹介しております。

今後、新しい理事長が選出された場合は、本会総務企画課(☎018-863-8701)までお知らせ下さい。



■災害時における協定を締結(由利本荘市管工事協同組合)

6月26日(火)、由利本荘市管工事協同組合(齋藤淳一理事長)は、由利本荘市内で災害が発生した際、ガス・水道施設の復旧作業を速やかに行えるよう、由利本荘市ガス水道局と「災害時におけるガス・水道施設の復旧応援に関する協定」を締結しました。

本協定により、応援出動が可能な指定業者(組合員)が各地域毎に登録され、予期せぬ災害発生時に指定業者による迅速な対応が可能となり、市民の安心・安全に繋がることが期待されます。

齋藤理事長は「協定の基づき速やかに対応できるよう、各地域の組合員との連絡訓練をしながら備えたい」と話しています。



[協定調印式(右：齋藤理事長)]

■藤澤会長が秋田市功労者表彰を受賞



[左：記念式典の様子、右：表彰状を授与される藤澤会長]

秋田市が主催する「市の記念日式典」が7月12日(木)に秋田市文化会館(秋田市)において開催され、本会の藤澤正義会長が、産業振興や小規模事業者への支援に貢献したことが認められ、2018年度秋田市功労者表彰を受賞しました。

このたびの受賞にあたり、藤澤会長は「これまでの取組が功績として認めていただいたことに深く感謝しながら、これからも引き続き、秋田市ならびに秋田県内の産業発展に尽力していきたい」と決意を新たにされました。

■会員組合からイベントのお知らせ

秋田県トラック運送事業協同組合(齊藤正敏理事長)では、下記のとおり、リーダーシップに関する講演会を開催します。どなたでも無料で聴講できますので、ご興味のある方は組合事務局までお問い合わせください。

「これからのリーダーに必要な5つのチカラ」

ユニプロス代表 越智由美 氏

- ◆開催日時：9月5日(水) 午後3時30分～ 基調講演
午後5時30分～ 交流懇親会
- ◆開催場所：秋田キャッスルホテル(秋田市中通1丁目3-5)
- ◆お問い合わせ先：秋田県トラック運送事業協同組合
事務局 担当：青山、石黒
☎018-823-8192



組合からイベント・セミナー開催等のお知らせがございましたら、本コーナーでお知らせ致しますので、お気軽に情報をお寄せ下さい。

支援団体活動レポート

表彰状と感謝状を授与／堀川会長を再任

～秋田県中小企業組合士会～

7月6日(金)、秋田市の第一会館本館において中小企業組合士会(堀川深雪会長)の平成30年度通常総会が開催され、会員等、27名が参加しました。

総会に先立ち開催された表彰式では、全国中央会会長表彰を受賞した大山房夫氏(秋田県生コンクリート工業組合)をはじめ、全7名に表彰状及び感謝状が授与されたほか、新たに組合士に認定された5名に認定証書が手渡されました。

総会では、全ての議案が満場一致で承認・可決され、任期満了に伴う役員改選では、堀川

深雪氏(協同組合秋田卸センター)が会長に再任されました。



[再任された堀川会長]

新会長に東海林正豊氏を選任

～秋田県中小企業青年中央会～

7月18日(水)、秋田市の秋田ビューホテルにおいて秋田県中小企業青年中央会(佐藤潤会長)の平成30年度通常総会が開催され、会員等、33名が参加しました。

総会では、全ての議案が満場一致で承認・可決され、任期満了に伴う役員改選では、新会長に東海林正豊氏(秋田県印刷工業組合)が選任されました。

総会終了後は、3組合の青年部から平成29年度青年部研究会の事業実施報告が行われ、参加会員は他の青年部の取組を学ぶことで刺激を受けた様子でした。



[挨拶で抱負を述べる東海林新会長]

8月は共済制度加入促進キャンペーン月間です

本会では、中小企業・小規模事業者の健全な発展を図るため、三井生命保険株式会社と提携し、共済制度普及キャンペーンを実施しています。会員組合ならびに組合員の皆様におかれましては、この機会に中央会共済制度を是非ご利用下さい。



秋田県中央会共済担当保険会社としてお世話になっております。三井生命保険秋田支社長の岡崎英城と申します。弊社では、永年にわたり中央会会員の傘下企業様向けに「特定退職金共済」・「オーナーズプラン」・「パートナーズプラン」を提供させていただいております。

迎える8月「共済制度加入促進キャンペーン月間」につきましては、普及推進を通じて、秋田県の企業様・従業員様に寄り添いお役に立ちたい気持ちを持って邁進させていただきます。弊社担当者訪問の折には共済制度に耳を傾けていただきますよう宜しくお願い申し上げます。

中小企業団体中央会を通じて三井生命は、中小企業のサポートを行っています。



◆お問い合わせ：

三井生命保険株式会社

〒010-0001 秋田市中通2-3-8 秋田アトリオンビル10階 ☎018-801-1645

消費税の軽減税率制度には、準備が必要です！（国税庁）

事業者の皆さん

来年10月1日から始まる消費税の軽減税率

準備していただきたいことがあります。

標準税率 **10%** と、飲食料品等に係る軽減税率 **8%** について
(酒類・外食を除く) (低所得者対策として実施)

▶ 帳簿・請求書・レシート等の記載を税率ごとに区別することが必要となります。

▶ レジや受発注システムの導入・改修が必要になることがあります。



消費税軽減税率制度説明会

を全国で開催しています。

開催日時、場所については

ぜひご参加下さい。

軽減税率説明会

検索



レジの導入等を支援する補助金について知りたい方は

軽減税率対策補助金

検索

軽減税率制度について知りたい方は

軽減税率 国税庁

検索

アパレル企業展を開催します！（秋田県アパレル産業振興協議会）

秋田県アパレル産業振興協議会(佐賀善美会長)では、県庁第二庁舎1階「ものづくり展示ホール」を会場に、会員企業が製造するアパレル製品の展示会を期間限定で開催します。日本のファッションを支える、Made in 秋田の高品質なものづくりを是非ご覧ください。



「Sew The Future ～秋田で輝くヒトと技術力～」

- ◆開催日時：8月1日(水)～8月31日(金)
午前9時～午後4時(土・日・祝日を除く)
※竿灯祭り期間中は
8月3日(金)、6日(月)午前9時～午後9時
8月4日(土)、5日(日)午後3時～午後9時
- ◆会場：秋田県庁第二庁舎1階「ものづくり展示ホール」
- ◆お問い合わせ：秋田県アパレル産業振興協議会 事務局
(本会 事業振興部 工業振興課 担当 菅)
☎018-863-8701

土日・夏期休暇と年次有給休暇を組み合わせて連続休暇に！（秋田労働局）



秋田労働局雇用環境・均等室では、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現のため、年次有給休暇の取得促進を進めています。働き方・休み方を変える第一歩として、土日・夏期休暇に年次有給休暇をプラスして連続休暇を実現する「プラスワン休暇」を実施しましょう！

- ◆お問い合わせ：
 - ・年次有給休暇の取得促進について
→秋田労働局雇用環境・均等室 ☎018-862-6684
 - ・年次有給休暇の制度については各労働基準監督署まで

中央会職員コラム

本会では、皆様に中央会の職員をより身近に知っていただくため、「中央会職員コラム」を連載しております。どうぞご覧下さい。

平成10年10月に中央会に入職し、まもなく20年を迎えます。

その間、平成12年には、中小企業大学校東京校で1年間の研修、平成14～15年の2年間は、秋田県企業支援センターへの出向と様々な経験をさせていただきました。

最初に組合の運営支援を行ったのは、秋田県畳商工組合(現秋田県畳業組合)でした。設立後まもなく、先輩の指示のもと関係書類を作成し、役員企業や税務署、県・市税事務所、法務局等を訪問して回ったことを今でも覚えています。

以降、様々な事業や組合設立支援等に携わって来ましたが、特に印象に残っているのは、平成17年に本会創立50周年を記念して実施された「ザ・祭典!! 元気な組合大集合」と平成19年に開催された第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」での物販・飲食ブース、県産飲食料品のPRです。

本会では珍しいイベント開催事業でしたが、どちらのイベントも、会員組合や組合員企業の皆様の多大なご協力により開催し、無事終了することができました。感謝申し上げます。

そして、現在は、6年ぶりに工業振興課へ異動となり、日々を過ごしております。

この20年で、仕事の仕方も大きく変化しました。現在では、メールでの事務連絡・文書の送受信が当たり前となり、直接相手方と会話をする機会が減っています。利便性を考えると効率も良く時間を無駄遣いせずに済みますが、意思疎通の面から見ると、細かなニュアンスが伝わりづらく、こちら側の意図に反して物事が伝わることもあり、誤解を招くこともありました。

便利なものは、あくまでも道具として活用し、大事な部分は、人対人の会話で確認することが必要だと思えます。

ビジネスでも日常生活でも、「最後は、人だ。」という言葉を目にしますが、やはり、最後は人だと思えます。これまでの人と人の繋がりを大切に、組合支援を通じ県内中小企業の活性化に少しでも寄与できれば幸いです。



[記 工業振興課 課長補佐 目時 均]